

世界史B 28 古アメリカ世界

1,アメリカ大陸の地勢と歴史

アメリカ大陸--()1地峡で南と北にわけられる(パナマは北アメリカ)
 更新世(約180万年~1万年前)末期→氷河の形成で海水面が下がり, []2海峽は陸橋に
 ー東北シベリアからアメリカ大陸へ, 狩猟民が波状的に移動
 ー約1万年前には南アメリカ南端の()3島に到達
 ー完新世(約1万年前~)の前6500年ごろ, メソアメリカと中央アンデスで原始()4開始
 前1500年ごろまでに()5を主作物とする農耕が確立
 ーメキシコ---サツマイモ 中央アンデス---()6の栽培→根栽農耕
 ーその他にサツマイモ, かぼちゃ, []7, 唐辛子, 落花生など独自の作物
 メソアメリカの農耕→北アメリカ大陸南部に伝わる
 前9世紀ごろメキシコ湾岸に大神殿中心に集落の統合
 神殿はピラミッドとの複合体→()8型神殿

アメリカ古文明--ユーラシアと交流がなく独自に発展

ー金属器・石造建築物が発達, 宗教性の強い国家が興亡
 ー()9法は知られず, 車・すき・ろくろなどは用いられない
 ー牛・馬など大型の家畜はなく, アンデスではラクダ科の小型獣リャマ(ラマ)やアルパカ

2,メソアメリカ文明

①()10文明=B.C.1250年頃~紀元前後
 メキシコ湾岸タバスコ地方を中心とした都市文明。「オリ=()11=の国の人」の意味。
 巨石人頭像, 絵文字, 聖獣ジャガー, 聖鳥()12, ゼロの概念
 その後のメソアメリカ文明の母体⇒「母なる文明」
 ②()13文明=B.C.1世紀~6世紀 (メキシコ高原) («神々の家」の意味)
 「太陽のピラミッド」をはじめ大小の神殿を建設→メソアメリカに大きな影響
 7世紀に衰退→南下してきた諸族が継承・発展→()14❖a文明(7~12世紀)
 ❖a---「都市に住む人々」の意味。テオティワカンとアステカの間メキシコ高原にあったとされる。
 ③[]15文明=成立紀元前後~古典期A.D.300~900年(メキシコ南東部, グアテマラなど)
 マヤ族---テオティワカン勢力におされ, 活動の中心がグアテマラから()16半島に移る
 エル=ミラドル、()17❖bなどの都市遺跡。()18という天然の泉。
 ー文字=マヤ文字・アーチ工法・天文観測・二十進法・正確な暦などが発達
 ー金属器を持たない。また、()19の儀式を行う。
 ❖b---代表的な遺跡()20台---マヤ様式とトルテカ様式とが融合した10世紀末の建築。高さ13m。
 肉眼で天体を観測。太陽暦の1年を365.2420日と計算。(現代天文学では365.24[]21日)
 1517年ユカタン半島にスペイン人が侵入
 ④[]22帝国(メキシコ高原)=1428頃~1521年=スペイン人コルテスが征服
 12世紀メキシコ高原に南下したアステカ(メシカ)族 1428年王イツコアトルが建国。
 ー首都()23❖c 大ピラミッド神殿 神権政治❖d
 ー生産性の高い()24農業=沼地に浮島を作り畑とする灌漑農法=による繁栄
 ❖c---テスココ湖の小島に1325年築く。16世紀20~30万の人口→コンスタンティノーブル、パリと並ぶ。
 ❖d---太陽が終末するという()25信仰により, 生贄の儀式がおこなわれた。
 文化・農耕神のケツァルコアトル神=マヤではククルカン神=()26のある蛇=が生贄の儀式に反対して追放され、「一の葦の年」=1519年=に復活すると信じられた。



3,アンデス地方

アンデス地域 前1000年ごろから, チャビン文明とよばれる初期都市文明が形成
 紀元1000年紀, 中央アンデスで都市文明が開花。()27(紀元前後~600年)=地上絵=など。
 8世紀から高地の()28(~12世紀), ワリ(500~900年)のプレ=インカ文明
 ①()29帝国=850~1470年頃
 9世紀にペルー北部の海岸部で成立し, 14世紀に拡張, 沿岸のシカン(750~1350年)を征服。
 金属工芸品=金・銀・青銅製, トルコ石の象嵌=や黒色土器などが発達→インカ帝国に継承
 ②[]30帝国=12世紀~1533年 正式名「タワンティン・スウユ」
 15世紀なかごろから, 高地中部の()31=標高3600mを中心にケチュア族の国が発展
 アンデス一帯に勢力を及ぼし, ()32の子とされた王を頂点に統治
 ー石造技術にすぐれ, 都市・太陽神殿, 道路を建設。空中都市()33
 ー文字はなかったが, ()34=縄の色・結び目=結縄=でことやら数量を表示。
 ー歴代の王の()35は, クスコの太陽神殿に安置。階段状のトウモロコシ畑。
 1530年ごろに王位継承争いで二分, 1532年に再統一。皇帝()36(位1532~33)。
 1533年 スペイン人ピサロに征服される。
 1572年 クスコ北方の奥地で抵抗していたトゥパク・アマルも殺害される。



カスティージョ(ククルカンの神殿)



ケツァルコアトル



天文台



セノーテ



アステカ・カレンダー



ナスカの地上絵



シカン出土



インカ皇帝アタワルパ



トゥパク・アマル(~1572)



マチュピチュ

- ・ゴム ・農耕 ・羽毛 ・製鉄 ・終末 ・天文 ・生贄 ・太陽神 ・ミイラ ・チムー
- ・ナスカ ・パナマ ・クスコ ・キープ ・ケツァル ・オルメカ ・チナンパ ・トルテカ
- ・セノーテ ・ユカタン ・ジャガイモ ・ピラミッド ・アタワルパ ・ティアワナコ
- ・マチュピチュ ・トウモロコシ ・テオティワカン ・チチェン=イツァ ・テノチティトラン